

ギニア月報（2018年1月）

主な出来事

【内政】

- 13日、コンデ大統領は、カンカン市にて独立記念式典に出席。同式典は、昨年10月2日の独立59周年を祝うもの。

【外政】

- 18日、コンデ大統領は、コナクリ市にて、中国政府とアフリカ25か国の各政府が共同で立上げ、中国のStarTimesグループが実施する「アフリカ1万か村における衛星放送アクセス計画」の立上げ式に出席。ギニアが最初の案件実施対象国で、2018年6月末までに、国内の309か村に、StarTimes社の機器（太陽光発電によるデジタルテレビ等）を設置する。式典には、StarTimesグループ会長、駐ギニア・中国大使等も出席。
- 24日、コンデ大統領は、世界経済フォーラム出席のため、スイス・ダボスを訪問。
- 28日、コンデ大統領は、アディスアベバ（エチオピア）でのAU総会に出席。AU議長職を、カガメ・ルワンダ大統領に引き継いだ。また、ケニヤッタ・ケニア大統領及びウェア・リベリア大統領と会談。

【経済】

- 19日、コンデ大統領は、アマリア・ダム（デュブレカ市）起工式に出席。同ダムは中国企業TBEA社出資（100億米ドル）によって、工期4年の予定で行われる。

1 内政

- ・ 13日、コンデ大統領は、カンカン市にて独立記念式典に出席。同式典は、昨年10月2日の独立59周年を祝うもの。
- ・ 14日、コンデ大統領は、ケルアネ県（高地ギニア地方）を訪問し、インフラ整備竣工式に出席。
- ・ 20日、コンデ大統領は、マムー市を訪問し、村落電力網竣工式に出席したほか、青少年センターを訪問。
- ・ 25日、地方選挙（2月4日予定）実施に向けた治安維持部隊（USEL）が大統領令により創設。独立選挙委員会（CENI）が管轄するUSELは、警察、憲兵隊、市民保護官によって構成され、投票場、有権者、被選挙人の安全を確保する。
- ・ 31日、コンデ大統領は、ンゼレコレ市で市民集会に出席。改良保健センター建設、食料安全保障対策、アフリカ女性共済組合（MUFFA）推進等について説明。この後、ファラナ、マセンタ、ゲケドゥ、キシドゥグを訪問予定。

2 外政

- ・ 5日、アルファノ・イタリア外相がギニアを訪問し、コンデ大統領と会談。2018年2月－3月頃に、在ギニア・イタリア大使館が開設される予定である旨述べた。
- ・ 16日、アスマニ・コモロ連合大統領が、ギニアを公式訪問し、コンデ大統領と首脳会談を実施。
- ・ 18日、コンデ大統領は、コナクリ市にて、中国政府とアフリカ25か国の各政府が共同で立上げ、中国のStarTimesグループが実施する「アフリカ1万か村における衛星放送アクセス計画」の立上げ式に出席。ギニアが最初の案件実施対象国で、2018年6月末までに、国内の309か村に、StarTimes社の機器（太陽

光発電によるデジタルテレビ等)を設置する。式典には、StarTimes グループ会長、駐ギニア・中国大使等も出席。

- ・ 20日、キリディ・バングラ大統領府事務総長は、コンデ大統領の代理として、ギニア・ビサウ政治危機解決のための対話に出席。
- ・ 24日、コンデ大統領は、ジョージ・ウェア新リベリア大統領の就任式に出席。
- ・ 24日、コンデ大統領は、世界経済フォーラム出席のため、スイス・ダボスを訪問。
- ・ 28日、コンデ大統領は、アディスアベバ(エチオピア)でのAU総会に出席。AU議長職を、カガメ・ルワンダ大統領に引き継いだ。また、ケニヤッタ・ケニア大統領及びウェア・リベリア大統領と会談。

3 経済

- ・ 5日、ロシア企業RUSAL社は、コナクリーフリア間の鉄道運行を4年ぶりに再開。2012年以降生産停止しているフリア市のフリギア(FRIGUIA)社(RUSAL社系列企業)ボーキサイト採掘及びアルミナ精製工場再開に向けた準備の一環。
- ・ 19日、コンデ大統領は、アマリア・ダム(デュブレカ市)起工式に出席。同ダムは中国企業TBEA社出資(100億米ドル)によって、工期4年の予定で行われる。
- ・ 26日、ディンギラエ鉱山会社(SMD)は、ギニア政府との間でシギリ県レロ金鉱山採決権の10年延長契約(総額3億6,300万米ドル)に署名。同採掘権は2019年に満了する予定だった。

(了)